

避難情報について(風水害)

発令情報	1 避難準備・高齢者等避難開始	2 避難勧告	3 避難指示(緊急)
発令状況	被害が発生する危険度が		
住民の皆さんの取るべき行動	令和3年5月20日から「警戒レベル」を用いた水害・土砂災害の避難情報の伝え方が変更になりました。 ●高齢者や障がい者、乳幼児など避難に時間のかかる人(要配慮者)と支援する人は避難を始めましょう。社会福祉施設などでは自力避難が困難な人も多く利用しているので、避難を始めましょう。 ●いつでも避難できる準備をして、その後の情報に注意しながら自主的に避難を始めましょう。 ●避難を始めてください。 ●外出することが危険な場合は高い建物の安全な場所に避難しましょう。 ●うすぐ避難してください。 ●外出することが危険な場合は高い建物の安全な場所に避難しましょう。		

※必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。
 ※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

これだけは覚えておこう! 水害時の避難で重要なこと

流れる水は怖い

普段、われわれの生活にさまざまな恩恵を受けている水。
 しかし、災害時の水は水流・水量などいつもと同じ優しい顔を見せてはくれません。



洪水の中を頑張って避難はダメ

日本では過去に洪水の中を屋外避難したことで流され、お亡くなりになった方もいます。無理に避難所へ行くことはかえって危険です。



流れる水に近づかない

興味本位で増水した河川などに近づくことは極めて危険です。
 絶対に近づかないようにしましょう!



いざというときは垂直避難

建物の倒壊の危険がない場合、屋外への立ち退き避難が必ずしも適切な行動ではなく、自宅や近隣建物の2階などへ緊急的に垂直避難することも選択肢です。



屋外が安全で移動できる状態のとき

自宅などから移動し、安全な場所への避難。
 (避難所、親戚や友人の家など)

屋外が危険な状態のとき

高い建物の安全な場所へ
 (垂直避難)

緊急速報メール(エリアメール)って何?



「緊急速報メール」は、気象庁が配信する「緊急地震速報」や「特別警報」、自治体が配信する「災害・避難情報」などを対象エリアにいる方へ配信するサービスです。「緊急速報メール」を受信した携帯電話は自動でメッセージが表示され、回線混雑(輻輳)の影響を受けずに受信することができます。月額使用料、情報料、通信料も無料です。

情報を集める テレビ・インターネット・電話案内などで調べる

気象状況

気象庁

<http://www.jma.go.jp>

TEL : 177



気象警報・注意報
 台風情報
 指定河川洪水予報
 土砂災害警戒情報
 竜巻注意情報
 高温注意情報
 レーダー・ナウキャスト
 (降水・雷・竜巻) など

ホーム > 防災情報

<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menulash.html>

雨量・河川水位

国土交通省 川の防災情報

<http://www.river.go.jp>

雨量分布(レーダー)の推移
 河川の水位と雨量の状況



<http://i.river.go.jp>
 (携帯電話)



河川の洪水予報

氾濫注意情報

川の水位が氾濫注意水位を超えたときに発表されます。

氾濫警戒情報

川の水位が避難判断水位を超えたときに発表されます。

氾濫危険情報

川の水位が氾濫危険水位を超えたときに発表されます。

氾濫発生情報

氾濫が発生した時に発表されます。

大雨注意報

大雨による災害が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。

大雨警報

大雨による重大な災害(浸水害)が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。

大雨特別警報

数十年に一度の降雨量となる大雨が予想されるときに発表されます。

強風注意報

強風による災害が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。

暴風警報

暴風による重大な災害が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。

暴風特別警報

数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想されるときに発表されます。

大雪注意報

大雪による災害が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。

大雪警報

大雪による重大な災害が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。

大雪特別警報

数十年に一度の降雪量となる大雪が予想されるときに発表されます。